

第16回

今年も「善福寺川 水鳥一斉調査」を行いました!!

【水鳥一斉調査の目的】

現在の善福寺川の自然を知ること、区民の皆さんにもっと善福寺川に注目してもらうことを目的に、善福寺川でどんな水鳥が、どこで、どれくらい利用しているかを一斉に調べる、

「善福寺川 水鳥一斉調査」を実施しました。水鳥以外の鳥もあわせて調べました。

＜実施日＞ 令和6年1月14日(日)10:00~11:30 (区民参加調査)

1月14日(日)10:00~12:00 (専門家調査)

【調査の方法】

区民の皆さんと善福寺川の自然を再確認する＜区民参加による水鳥調査＞と、善福寺川全域の水鳥の利用状況を把握する＜専門の調査員による水鳥調査＞を行いました。

＜調査ルート＞



＜区民参加による水鳥調査＞

善福寺公園コース（善福寺公園）、善福寺川緑地コース（西田橋～尾崎橋）、和田堀公園コース（尾崎橋～和田堀池）において、善福寺川流域の小学校の児童とともに、鳥に詳しい先生の解説を受けながら、善福寺川を利用する鳥について観察し、種類や個体数を記録しました。

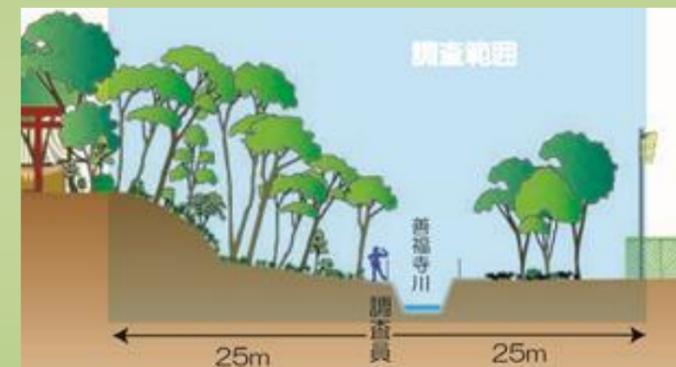


＜専門の調査員による水鳥調査＞

善福寺川を6区分し、それぞれの区間に約2kmの調査ルート（A～F）を設定、各ルートに出現する鳥類の確認を同時間一斉に実施しました。

調査は、一定の速度で2時間歩き、ルート上の幅50m（片側25m）の範囲に出現する鳥類の種類、個体数、諸行動について記録しました。

各ルートについて、Aルートは池の周辺に樹林や植栽帯、池内にヨシや低木が点在しています。B・Cルートは住宅地内、D・Eルートは緑地内をそれぞれ川が流れて、Fルートは住宅地からビル街にかけて川が流れています。



今年の水鳥調査参加小学校

◇参加小学生による調査記入シート

小学生による調査では、善福寺川で見られる鳥の絵が描かれた調査シートを用いて、今回見られた鳥の数を「正」の字を使って記入していきます。

学校名 小学校 お名前

区民参加による水鳥一斉調査 集計表

鳥の名前	見た数の合計	鳥の名前	見た数の合計
アオサギ		カイツブリ	
アオシ		カルガモ	
アカハラ		カワウ	
ウグイス		カワセミ	
エナガ		カワラヒワ	
オオタカ		キジハト	
オオバン		キセキレイ	
オカヨシガモ		キンクロハシ	
オシドリ		ゴイサギ	
オナガ		コガモ	
オナガガモ		コゲラ	
		コサギ	

調査日：令和5年1月14日

善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業

杉並区の水鳥

善福寺川 水鳥一斉調査

鳥名(漢字)の全長 cm

通年 1年を通じて見られる鳥

冬鳥 冬に見られる鳥

見分けるポイント

水にもぐって捕食する

陸のすがた

水鳥のすがた

カイツブリ(全長)26

カルガモ(全長)61

カワウ(全長)81

カワセミ(全長)17

カワラヒワ(全長)17

キジハト(全長)25

キセキレイ(全長)25

キンクロハシ(全長)44

ゴイサギ(全長)58

コガモ(全長)38

コゲラ(全長)38)

コサギ(全長)61)

オシドリ(全長)45

オナガ(全長)75-85)

オカヨシガモ(全長)50)

オオバン(全長)39)

アオサギ(全長)95)

アオシ(全長)61)

ダイサギ(全長)104)

ウグイス(全長)17)

エナガ(全長)17)

アカハラ(全長)17)

オオタカ(全長)104)

オオバン(全長)39)

オカヨシガモ(全長)50)

オシドリ(全長)45)

オナガ(全長)75-85)

オナガガモ(全長)50)

コガモ(全長)38)

コゲラ(全長)38)

コサギ(全長)61)

カワウ(全長)81)

カワセミ(全長)17)

カワラヒワ(全長)17)

キジハト(全長)25)

キセキレイ(全長)25)

キンクロハシ(全長)44)

ゴイサギ(全長)58)

ダイサギ(全長)104)

◇今年の参加小学校

第16回を迎える今年は、小学校17校140名の生徒さんと、その保護者の方々124名の合計264名が参加しました。また、12名の解説員の先生に協力いただきました。

調査コース	参加小学校	参加人数	解説員
善福寺公園	井荻 桃井第一 桃井第二 桃井第三 桃井第四	小学生：55名 保護者：48名	谷口 高司 先生 谷口 律子 先生 西村 眞一 先生 安西 英明 先生
善福寺川緑地コース (尾崎橋～仲よし公園)	杉並第一 杉並第二 杉並第七 西田	小学生：29名 保護者：25名	井上 耀右 先生 谷島 みどり 先生 六車 貴美子 先生
和田堀公園コース (尾崎橋～和田堀池)	済美 松ノ木 浜田山 方南 堀ノ内 和田 大宮 東田	小学生：56名 保護者：51名	渡辺 博重 先生 真柳 元 先生 佐々木 幹夫 先生 石原 武 先生 伊藤 晴康 先生
計	17校	小学生：140名 保護者：124名	

◇今年の参加小学校の位置図

今年も善福寺川流域の小学校(17校)に参加いただきました。



◇解説の状況



これはメジロの巣です。都会っ子らしく、巣材にスズランテープを使用しています。

冬は落ち葉や枯れ枝を踏み音で鳥を驚かさないう様に、静かにゆっくりと歩きましょう。



オオタカの巣にハンガーが使われています。元はカラスの巣だったのかもしれませんが。

カモのオスはメスの気を引くために、秋から冬にかけて体の色が派手になります。



エナガやシジュウカラは天敵を早く見つけられるように、冬は群れで行動します。



みんなで考えてみましょう。野鳥にとって良い環境とは？善福寺川を守るためには？

区民参加による水鳥調査の結果

◇調査結果(確認した鳥と数)

今年の調査では、カルガモが最も多く見られた「水鳥」でした。

「水鳥以外」では、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロなどが多くみられ、一部でジョウビタキ、ウグイス、オオタカも観察できました。

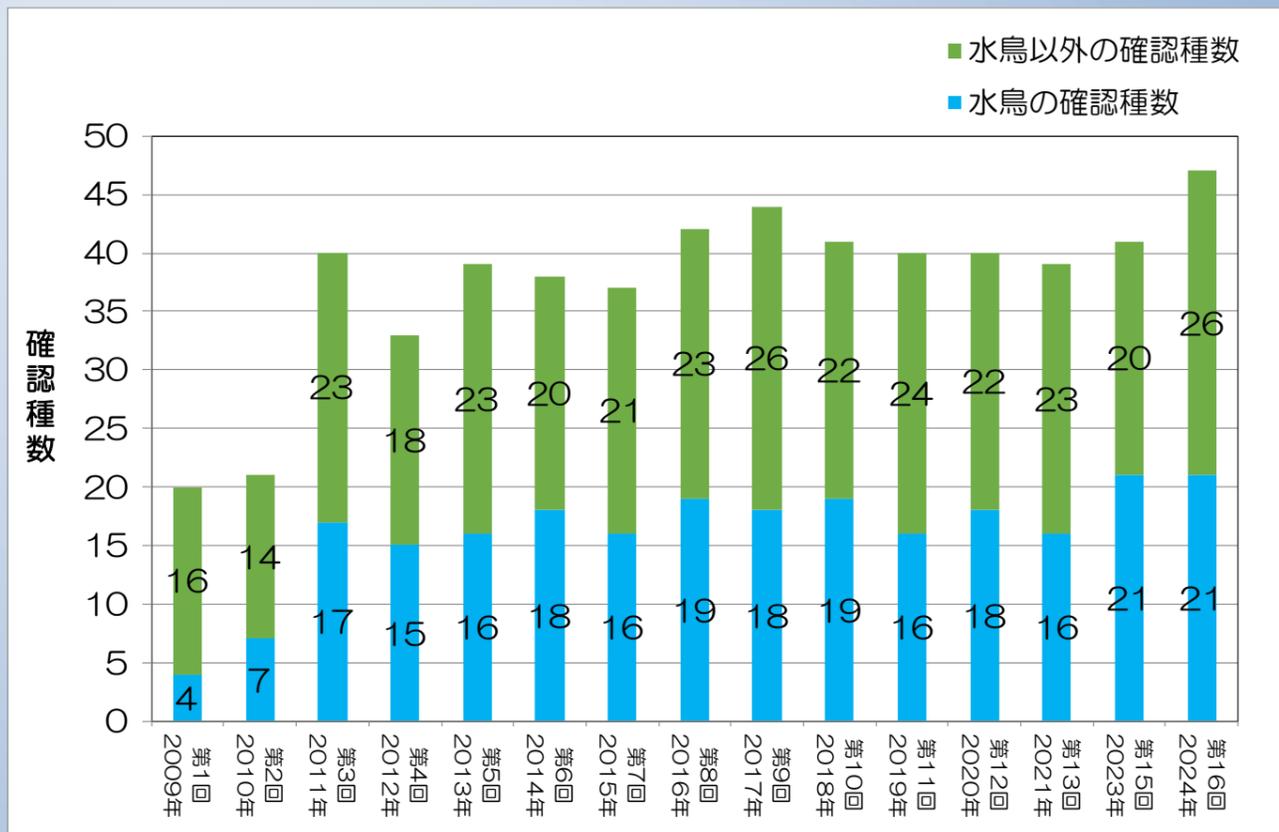
	善福寺公園コース	善福寺川緑地コース	和田堀公園コース
各コースで多く見られた上位3位の水鳥と確認数	 カルガモ (6~55羽)	 カルガモ (5~31羽)	 カルガモ (4~34羽)
	 キンクロハジロ (1~37羽)	 コガモ (1~10羽)	 キンクロハジロ (5~12羽)
	 ホシハジロ (1~30羽)	 ハクセキレイ (1~8羽)	 ハクセキレイ (1~6羽)
その他水鳥	カワセミ (1~3) アオサギ (1~13) オナガガモ (2~5) ゴイサギ (1~12) ハクセキレイ (1~2) パン (1) マガモ (1~6) ヒドリガモ (2~21) カワウ (1~6) キセキレイ (1) コガモ (1~3) コサギ (1~2) オカヨシガモ (3) カイツブリ (2~13)	カワセミ (1~3) アオサギ (1) オナガガモ (2) キンクロハジロ (2~7) ハシビロガモ (1) パン (2) コサギ (1) マガモ (1~5) ホシハジロ (1~3) カイツブリ (1)	オナガガモ (2) マガモ (1) ゴイサギ (1) アオサギ (1) キセキレイ (1~2) カワセミ (1) コガモ (1~2)
種数計	17	13	10

どのコースでも「カワセミ」は観察されました

◇確認された鳥の種数の推移

今年は去年に引き続き、多くの水鳥(21種)を観察することが出来ました。

また、天気が良かったことから水鳥以外の鳥もこれまでで最も多く、26種を観察することが出来ました。



◇今年確認された主な水鳥たち



専門の調査員による水鳥調査の結果 1

善福寺川全体で 37 種類の鳥類（うち、水鳥は 17 種）を確認

- 最も多く見られた鳥は、
1位 ヒヨドリ (228羽)
2位 カルガモ (186羽)
3位 ドバト (138羽)

- 最も多くの鳥が確認されたルートは、
Aルート (善福寺公園) (28種)

- 最も多くの鳥の種類が確認されたルートは、
Aルート (善福寺公園) (377羽)



ヒヨドリ



カルガモ

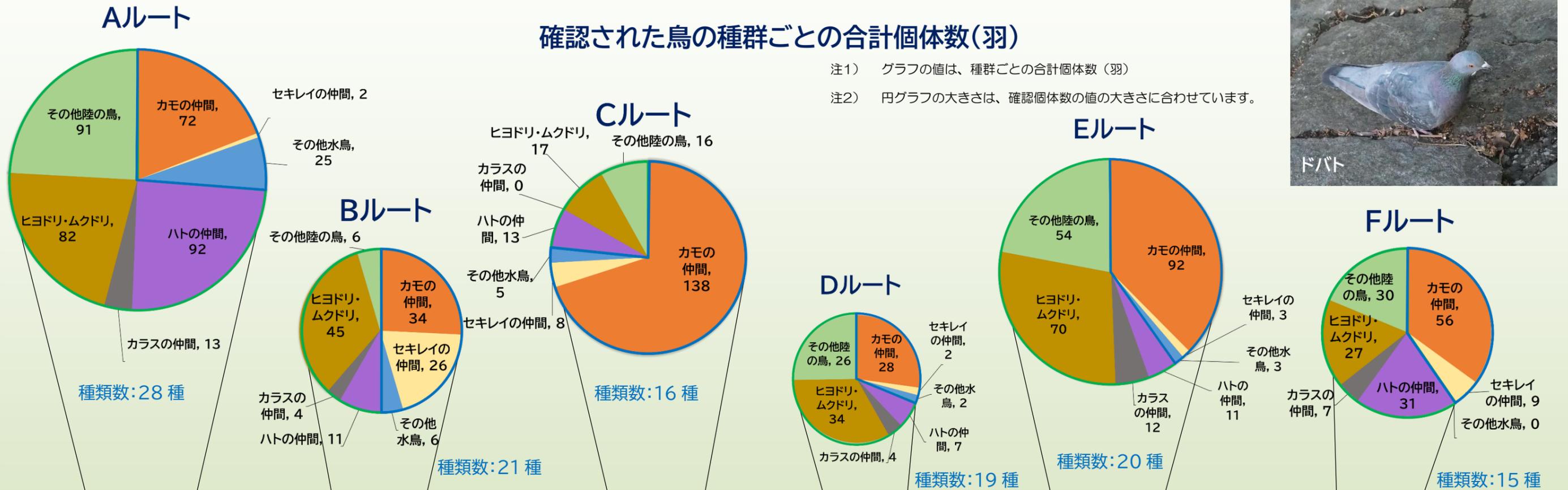


ドバト

確認された鳥の種群ごとの合計個体数(羽)

注1) グラフの値は、種群ごとの合計個体数(羽)

注2) 円グラフの大きさは、確認個体数の値の大きさに合わせています。



専門の調査員による水鳥調査の結果 2

◇善福寺川における16年間(16回調査)の「水鳥」の確認状況



16回の調査で
確認された回数

Aルート

Bルート

Cルート

Dルート

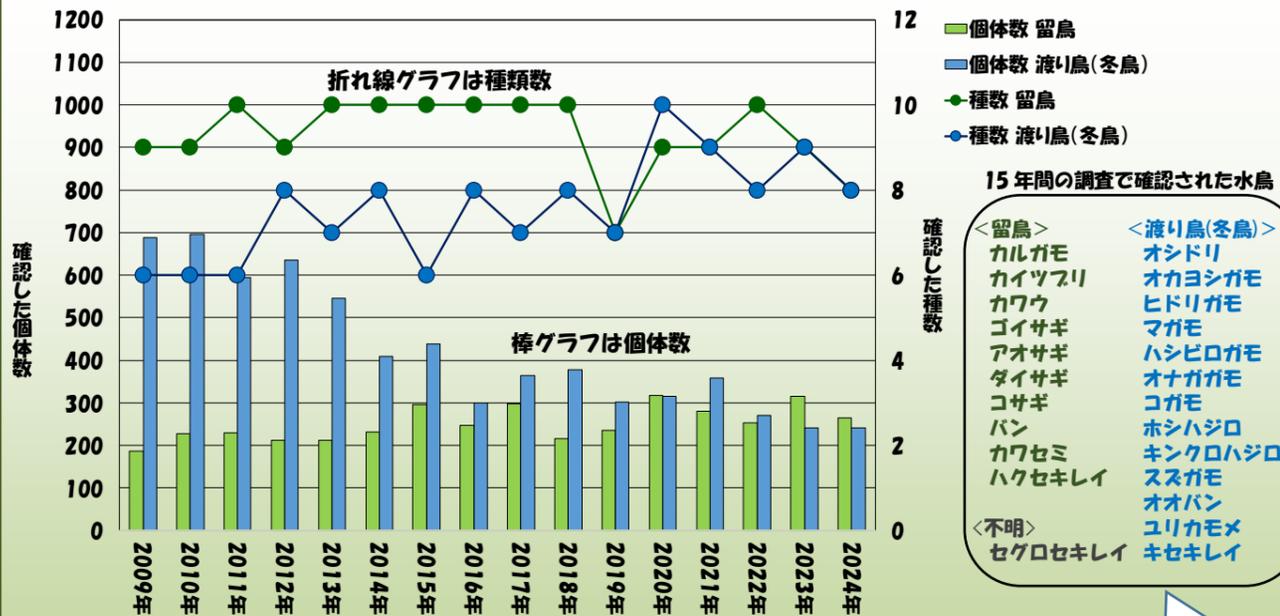
Eルート

Fルート

16回の調査で 確認された回数	Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
11~16回 ほぼ毎回観察 される水鳥	<p>カルガモ オナガガモ カイツブリ キンクロハジロ ゴイサギ マガモ アオサギ カワセミ パン ハクセキレイ カワウ</p>	<p>カルガモ オナガガモ コガモ コサギ ハクセキレイ キセキレイ</p>	<p>カルガモ オナガガモ コガモ ハクセキレイ コサギ キセキレイ</p>	<p>カルガモ ハクセキレイ オナガガモ キセキレイ</p>	<p>カルガモ オナガガモ ハクセキレイ キセキレイ コガモ</p>	<p>カルガモ オナガガモ ハクセキレイ コガモ キセキレイ</p>
6~10回	<p>コサギ ハシビロガモ コガモ オオバン ホシハジロ</p>	<p>カワセミ ヒトリガモ マガモ キンクロハジロ カワウ ダイサギ ハシビロガモ セグロセキレイ</p>	<p>カワセミ カワウ ダイサギ ハシビロガモ ヒトリガモ キンクロハジロ セグロセキレイ</p>	<p>キンクロハジロ カワウ カワセミ</p>	<p>カワウ キンクロハジロ</p>	<p>コサギ</p>
3~5回	<p>ダイサギ キセキレイ</p>	<p>セグロセキレイ ホシハジロ</p>	<p>ホシハジロ</p>	<p>コガモ</p>	<p>カワセミ マガモ コサギ</p>	<p>マガモ キンクロハジロ</p>
1~2回 観察は 稀な水鳥	<p>オカヨシガモ コリカモメ</p>	<p>スズガモ</p>	<p>マガモ オンドリ ゴイサギ アオサギ チュウサギ オオバン</p>	<p>コサギ アオサギ セグロセキレイ ホシハジロ</p>	<p>ホシハジロ カイツブリ アオサギ パン</p>	<p>ホシハジロ カワウ ダイサギ</p>
確認された種類数	20種類	16種類	20種類	12種類	14種類	11種類

専門の調査員による調査結果 3 (16年間の調査のまとめ)

◇水鳥における渡り鳥と留鳥の確認状況の変化

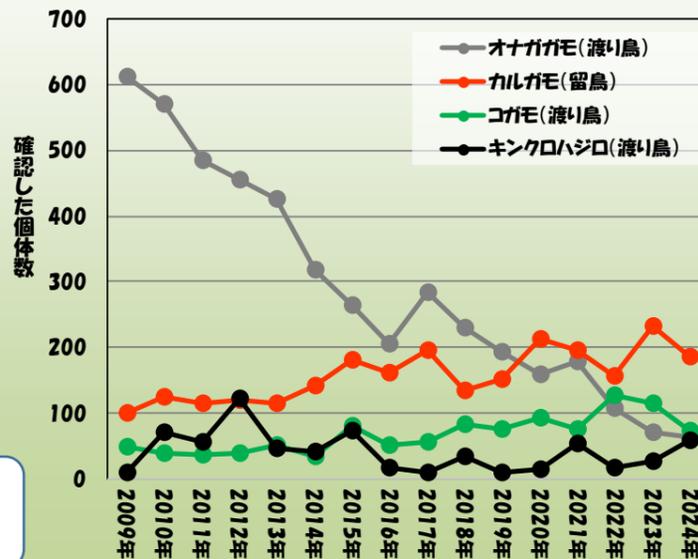


冬の時期にみられる善福寺川の水鳥は、これまで渡り鳥の個体数が多かったのですが、徐々に渡り鳥が減少し、留鳥は少しずつ増えていきました。昨年は初めて逆転し、今年も僅かに留鳥が多くなっています。

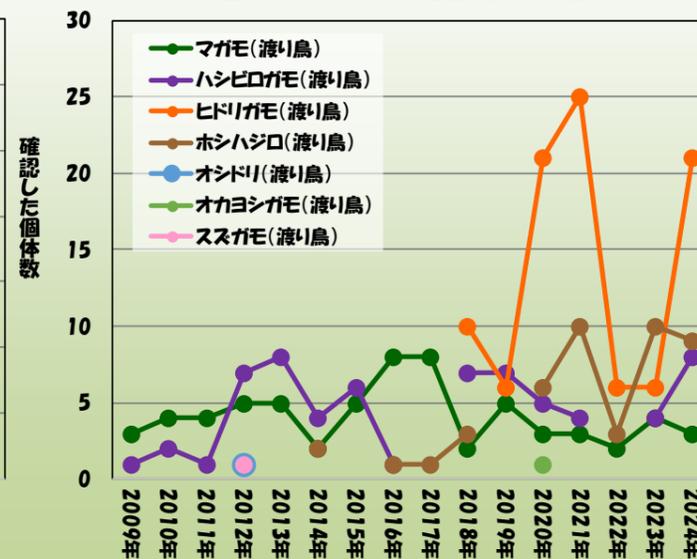
鳥は、一年中その場にいる留鳥と定期的に長い距離を移動する渡り鳥に分けられます。

渡り鳥の個体数は、気候変動や繁殖地の環境変化などに影響を受けます。オナガガモに着目すると、2009年と比較して個体数が大きく減少しています。善福寺川では、かつて多く見られた餌やりがなくなったことが大きな要因と言われています。生きものとの望ましい関わり方の理解が進んだものとも考えられます。一方で、留鳥のカルガモは少しずつ数を増やしていることが分かります。

主なカモ類の確認個体数の推移



その他のカモ類の確認個体数の推移



◇善福寺川と杉並区全域の確認種の比較

16回の調査で、善福寺川では約50種類もの鳥を確認することが出来ました。このうち、水鳥は24種類(雑種等を除く)で、杉並区全域で確認されている水鳥(25種類)のほとんどを確認できることがわかりました。水鳥以外の鳥についても、杉並区全域で観察される鳥の種類の半分以上を観察できることがわかりました。

分類	目	科	種名	渡り区分	善福寺川	杉並区全域※1		
カモ	カモ		オンドリ	冬鳥	●	●		
			オカヨシガモ	冬鳥	●	●		
			ヒドリガモ	冬鳥	●	●		
			マガモ	冬鳥	●	●		
			カルガモ	留鳥	●	●		
			ハシビロガモ	冬鳥	●	●		
			オナガガモ	冬鳥	●	●		
			コガモ	冬鳥	●	●		
			ホシハジロ	冬鳥	●	●		
			キンクロハジロ	冬鳥	●	●		
			スズガモ	冬鳥	●	●		
			マガモ×カルガモ	不明	●	●		
			カルガモ×オナガガモ	不明	●	●		
			カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	●	●
			カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	●	●
ペリカン	サギ		ゴイサギ	留鳥	●	●		
			アオサギ	留鳥	●	●		
			ダイサギ	留鳥	●	●		
			チュウサギ	留鳥	●	●		
			コサギ	留鳥	●	●		
ツル	クイナ		パン	留鳥	●	●		
			オオバン	留鳥	●	●		
チドリ	シギ		チドリ	旅鳥	●	●		
			シギ	旅鳥	●	●		
フッコウソウ	カワセミ		カワセミ	留鳥	●	●		
			カワセミ	留鳥	●	●		
スズメ	セキレイ		キセキレイ	留鳥	●	●		
			ハクセキレイ	留鳥	●	●		
			セグロセキレイ	不明	●	●		
計(雑種は除く)					24	25		

分類	目	科	種名	渡り区分	善福寺川	杉並区全域※1	
水鳥以外の鳥	スズメ		ハト	キジバト	留鳥	●	●
			カウコウ	ツツドリ	旅鳥	●	●
			アマツバメ	アマツバメ	旅鳥	●	●
			トビ	トビ	不明	●	●
			ツミ	ツミ	留鳥	●	●
			ハイタカ	ハイタカ	不明	●	●
			オオタカ	オオタカ	留鳥	●	●
			キツツキ	キツツキ	留鳥	●	●
			コガラ	コガラ	留鳥	●	●
			アオガラ	アオガラ	留鳥	●	●
			ハヤブサ	ハヤブサ	不明	●	●
			チョウゲンボウ	チョウゲンボウ	不明	●	●
			サンコウチョウ	サンコウチョウ	旅鳥	●	●
			モズ	モズ	冬鳥	●	●
			カケス	カケス	不明	●	●
カラス			オナガ	留鳥	●	●	
			ハシボソガラス	留鳥	●	●	
			ハシブトガラス	留鳥	●	●	
			ヤマガラス	留鳥	●	●	
			ヒガラ	冬鳥	●	●	
シジュウカラ			シジュウカラ	留鳥	●	●	
			シジュウカラ	留鳥	●	●	
ツバメ			ツバメ	夏鳥	●	●	
			ツバメ	夏鳥	●	●	
ヒヨドリ			ヒヨドリ	留鳥	●	●	
			ヒヨドリ	留鳥	●	●	
ウグイス			ウグイス	冬鳥	●	●	
			ウグイス	冬鳥	●	●	
エナガ			エナガ	留鳥	●	●	
			エナガ	留鳥	●	●	
ムシクイ			メボリムシクイ	旅鳥	●	●	
			エゾムシクイ	旅鳥	●	●	
セキレイ			セグロセキレイ	留鳥	●	●	
			セグロセキレイ	留鳥	●	●	
メジロ			メジロ	留鳥	●	●	
			メジロ	留鳥	●	●	
ヨシキリ			ヨシキリ	旅鳥	●	●	
			ヨシキリ	旅鳥	●	●	
ムクドリ			ムクドリ	留鳥	●	●	
			ムクドリ	留鳥	●	●	
シロハラ			シロハラ	冬鳥	●	●	
			シロハラ	冬鳥	●	●	
アカハラ			アカハラ	冬鳥	●	●	
			アカハラ	冬鳥	●	●	
ツグミ			ツグミ	冬鳥	●	●	
			ツグミ	冬鳥	●	●	
ルリビタキ			ルリビタキ	冬鳥	●	●	
			ルリビタキ	冬鳥	●	●	
ジョウビタキ			ジョウビタキ	冬鳥	●	●	
			ジョウビタキ	冬鳥	●	●	
エゾビタキ			エゾビタキ	旅鳥	●	●	
			エゾビタキ	旅鳥	●	●	
コサメビタキ			コサメビタキ	旅鳥	●	●	
			コサメビタキ	旅鳥	●	●	
キビタキ			キビタキ	留鳥	●	●	
			キビタキ	留鳥	●	●	
オオルリ			オオルリ	留鳥	●	●	
			オオルリ	留鳥	●	●	
スズメ			スズメ	留鳥	●	●	
			スズメ	留鳥	●	●	
セキレイ			ピンズイ	旅鳥	●	●	
			ピンズイ	旅鳥	●	●	
アトリ			アトリ	冬鳥	●	●	
			アトリ	冬鳥	●	●	
カワラヒワ			カワラヒワ	留鳥	●	●	
			カワラヒワ	留鳥	●	●	
シメ			シメ	冬鳥	●	●	
			シメ	冬鳥	●	●	
ホオジロ			ホオジロ	不明	●	●	
			ホオジロ	不明	●	●	
カシラダカ			カシラダカ	不明	●	●	
			カシラダカ	不明	●	●	
アオジ			アオジ	冬鳥	●	●	
			アオジ	冬鳥	●	●	
キジ			コジュケイ	留鳥	●	●	
			コジュケイ	留鳥	●	●	
ハト			カワラバト(ドバト)	留鳥	●	●	
			カワラバト(ドバト)	留鳥	●	●	
インコ			ホンセイインコ	留鳥	●	●	
			ホンセイインコ	留鳥	●	●	
スズメ			ガビチョウ	不明	●	●	
			ガビチョウ	不明	●	●	
計(雑種は除く)					28	52	

※1「杉並区自然環境調査報告書(第7次)」調査は1985~2018年の間に10回実施。旅鳥は除く。

◇これまでの調査で確認された注目すべき種類

国や都のレッドデータブックに掲載されている種類をみると、21種類が該当しました。これらは、善福寺公園のあるAルートで最も多く、次いでCルートとEルートで多く確認しています。

目名	科名	種名	国RD ^{#1}	東京都RD ^{#2}	これまでの調査で確認された場所					
					Aルート	Bルート	Cルート	Dルート	Eルート	Fルート
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ		NT	●	●	●	●	●	●
		ゴイサギ		VU	●	●	●	●	●	●
コウノトリ	サギ	ゴイサギ		NT	●	●	●	●	●	●
		ダイサギ		NT	●	●	●	●	●	●
		チュウサギ		NT	●	●	●	●	●	●
		コサギ		VU	●	●	●	●	●	●
カモ	カモ	オンドリ		DD	●	●	●	●	●	●
		ホシハジロ		VU	●	●	●	●	●	●
		スズガモ		*	●	●	●	●	●	●
		トビ		NT	●	●	●	●	●	●
タカ	タカ	オオタカ		NT	●	●	●	●	●	●
		ツミ		EN	●	●	●	●	●	●
ツル	クイナ	フスリ		CR	●	●	●	●	●	●
		パン		EN	●	●	●	●	●	●
フッコウソウ	カワセミ	カワセミ		VU	●	●	●	●	●	●
		カワセミ		VU	●	●	●	●	●	●
キツツキ		アオガラ		EN	●	●	●	●	●	●
		セキレイ		VU	●	●	●	●	●	●
スズメ		モズ		CR	●	●	●	●	●	●
		シジュウカラ		VU	●	●	●	●	●	●
		アトリ		NT	●	●	●	●	●	●
		ウソ		NT	●	●	●	●	●	●
カラス		NT	●	●	●	●	●	●		
種数の合計					14	8	11	7	10	5

※1 レッドデータブック(環境省2020)
 NT: 準絶滅危惧
 EN: 絶滅危惧ⅠB類
 VU: 絶滅危惧Ⅱ類
 CR: 準絶滅危惧
 DD: 情報不足
 *: 留意種

